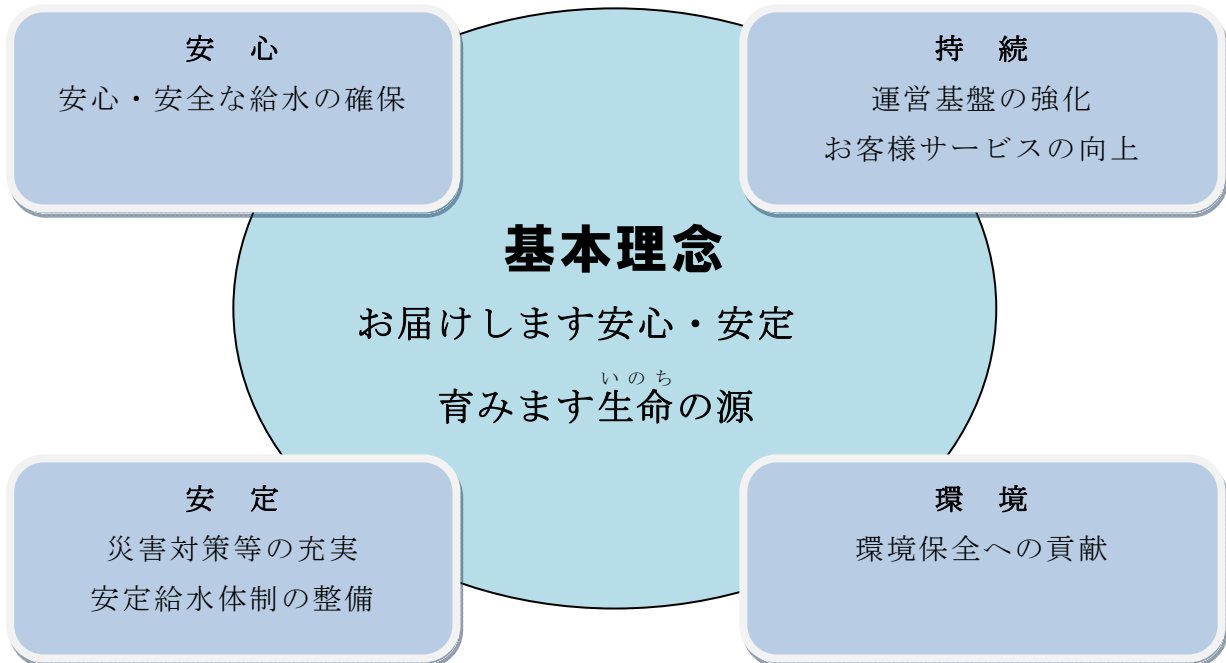


## IV 将来像の設定

### 1 目指すべき方向

芳賀中部上水道企業団が、水道ビジョンの中で実現を目指す将来像は、次のとおりです。

#### 【水道事業の将来像】



#### 【経営方針】

- 1 ご利用いただくお客様を第一に考え、お客様の声や心を積極的かつ敏感に感じ取り、満足度の向上を図ります。
- 2 パートナーとは、相互対等な立場と認識し、協力関係を強化して共に繁栄することを目指します。
- 3 社会秩序や法令を遵守し、積極的な情報提供により地域社会から信頼される企業団を目指します。
- 4 採算性を追求し、長期的な視野に立って経営基盤を拡充し、構成町に対する責任を継続的に果たす企業団を目指します。
- 5 職員一人ひとりの自主性と創造性が発揮できる組織風土をつくります。
- 6 良識ある企業市民として継続的に地域社会に貢献するとともに、地球環境の保全に努めます。

## 2 施策体系（アクションプラン）

### 1 安心・安全な給水の確保

- 安心と安全の提供
  - ・水質事故の防止
  - ・水質検査計画の策定、結果の公表
  - ・自己水源の保全
  - ・未普及地域への普及拡大
- 安定的な水量の確保
  - ・水源水量の適正化

### 2 災害対策等の充実、安定給水体制の整備

- 施設の耐震化
  - ・耐震化計画の策定
- 管路の耐震化
  - ・基幹管路の耐震化の整備
- 災害時応急体制の確立
  - ・応急給水体制の整備
  - ・応急復旧体制の整備
- 水道情報の電子化
  - ・管網情報の電子化

### 3 経営基盤の強化、お客様サービスの向上

- 収益状況の改善
  - ・収納率の向上
- 財政基盤の強化
  - ・重要事業への重点的投資の実施
- お客様サービスの向上
  - ・広報、情報公開の推進とお客様ニーズの把握
- 貯水槽水道の管理
  - ・貯水槽水道の把握と適正管理の指導
  - ・直結給水の推進
- 業務委託の検討
  - ・水道メーター検針業務の民間委託の導入

### 4 環境保全への貢献

- 省エネルギー化の推進
  - ・省エネルギー型機器の導入
- 有効率の向上
  - ・漏水調査の実施

1 安心・安全な給水の確保

○安心と安全の提供

・水質事故の防止

安心かつ安全である水をお客様に提供するために、水質検査は必要不可欠です。幸いにして、現在まで水質事故等は確認されていません。

しかし、水質汚染はどのようなかたちで発生するかわかりません。水質事故を未然に防ぐために水質管理体制の強化を図り、水道水の安全と信頼の確保に努めます。

・水質検査計画の策定、結果公表

水質検査計画の策定状況や水質検査結果については、広報やホームページでお客様にわかりやすく情報提供を行います。

・自己水源の保全

水源の8割以上を占める自己水源の保全を図る必要があるが、これらは浅井戸であることから、浄水処理施設におけるクリプトスポリジウム対策として、紫外線による滅菌設備を整備します。

・未普及地域への普及拡大

生活用水の安全性確保の点から、水道未普及地域の解消に努めます。

○安定的な水量の確保

・水源水量の適正化

将来において地下水の変動等による取水量の低下も懸念されるため、自己水源を補完する水源として、栃木県鬼怒水道用水供給事業からの受水量の増量を図ります。

## 2 災害対策等の充実、安定給水体制の整備

### ○施設の耐震化

#### ・耐震化計画の策定

基幹施設の耐震診断を行い、その結果に基づき耐震化計画を策定し、緊急度の高い施設から補強工事を実施します。

また、配水池の緊急遮断弁を整備することにより応急給水用水の確保を図ります。

なお、芳志戸浄水場については、一番重要な基幹施設のため、耐震工事を実施しています。

### ○管路の耐震化

#### ・基幹管路の耐震化の整備

災害時におけるライフラインの確保のために、平成18年度から老朽管の布設替時に耐震性の高い管を一部採用していますが、今後も耐震管への更新に努めます。

### ○災害時応急体制の確立

#### ・応急給水体制の整備

災害時の円滑な応急給水活動のため、給水体制の充実を図ります。

また、緊急時の職員の即応体制の充実を図るため、「水道危機対処マニュアル」の再整備と災害を想定した訓練を実施します。

#### ・応急復旧体制の整備

他の水道事業者や関係機関と締結している災害応援協定を継続するとともに、災害が発生した場合、この協定に基づいた円滑な応援受入れが可能なように、応援受入れマニュアルの整備も合わせて行います。

#### ○水道情報の電子化

##### ・管網情報の電子化

管網情報を電子化することにより、災害時や断水時の戸数把握や水量のシミュレーション、各種問い合わせに迅速に対応できる管路情報システムを構築します。

### 3 経営基盤の強化、お客様サービスの向上

#### ○収益状況の改善

##### ・収納率の向上

水道料金を効率的に収納するために、口座振替の促進と滞納者の解消に取り組み、負担の公平化を目指します。

#### ○財政基盤の強化

##### ・重要事業への重点的投資の実施

施設の耐震化や老朽施設の改修など計画的な施設整備を進めるとともに、業務の効率化や業務委託の推進等による経費の節減を図り健全な事業経営に努めます。

#### ○お客様サービスの向上

##### ・広報、情報公開の推進とお客様ニーズの把握

お客様が必要とされる情報をわかりやすく発信していくとともに、水道を身近なものに感じていただける広報体制を確立します。

また、お客様満足度調査を実施し、多様化するお客様のニーズを把握しながら、事業に反映します。

#### ○貯水槽水道の管理

##### ・貯水槽水道の把握と適正管理の指導

貯水槽水道設置者の把握とともに、貯水槽水道管理の個別検査及び指導を図ります。

#### ○業務委託の検討

##### ・水道メーター検針業務の民間委託の導入

水道メーター検針業務の民間委託の導入を図り、効率的な業務運営を推進します。

## 4 環境保全への貢献

#### ○省エネルギー化の推進

##### ・省エネルギー型機器の導入

地下水を水源にしているため、ポンプを利用する設備が多く、配水量 1 m<sup>3</sup>当たりの電気消費量は、全国平均より高くなっています。

施設の統廃合や老朽施設の更新には、省エネルギータイプの機器を導入する等、エネルギー消費量の低減を図ります。

#### ○有効率の向上

##### ・漏水調査の実施

有効率 87.5%以上とすることを目標として、計画的に漏水調査を実施します。